

ドラムキャリア 187B/SUS187B

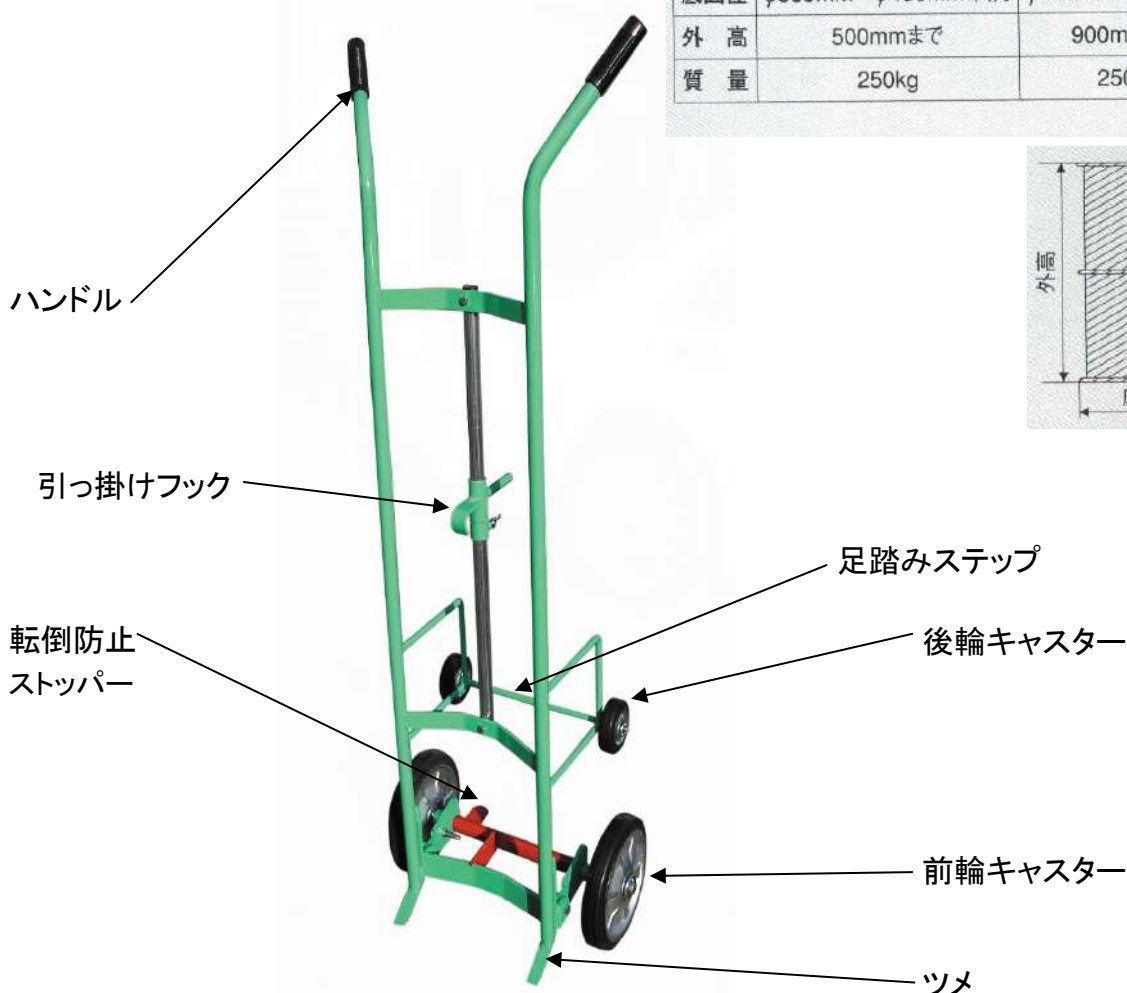
取扱説明書

この度はドラムキャリア187B/SUS187Bをご購入いただきありがとうございます。
本機を安全に効率良くご使用いただくために、必ずご使用前に良く読み、
正しくご使用ください。取扱説明書をいつでも使用できるように保管してください。
説明書を紛失された場合は、購入店にてお求めください。

● 仕様

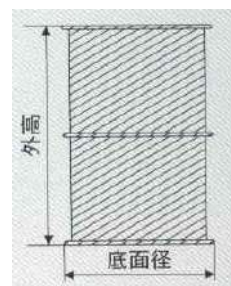
型式	全長 (mm)	全幅 (mm)	自重 (kg)	対応ドラム	キャスター 前輪(mm)	キャスター 後輪(mm)	積載荷重 (kg)
187B	1535	595	24	図-1参考	ゴムφ100	ゴムφ250	250
SUS187B			25				

● 各部の名称



●対応ドラム
JIS規格ドラムに対応 図-1

底面径	φ385mm～φ450mm未満	φ450mm～φ585mm
外高	500mmまで	900mmまで
質量	250kg	250kg



※ 写真は187B

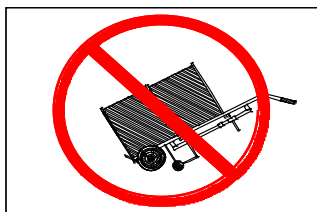


株式会社 神戸車輛製作所

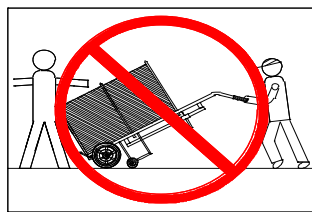
● 警告 操作方法を誤ると、重大な人身事故の恐れがあります

- ① 積載荷重以上は載せないでください。
- ② 坂道での運搬はお止めください。
思わぬ方向にドラム缶が転倒する恐れがあります。
- ③ 移動するときは、前後に人がいないことを確認してください。
- ④ ドラム缶以外の搭載はしないでください。
- ⑤ 後ろ向きに引かないでください。
- ⑥ 作業中、やむなく本製品から離れるときは、ドラム缶を降ろし
転倒防止ストッパーを掛け 自立を確認してください。
- ⑦ お客様での製品の分解や改造は絶対にお止めください。

警告



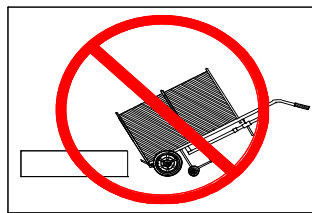
積載荷重以上の
荷物は載せないで
ください



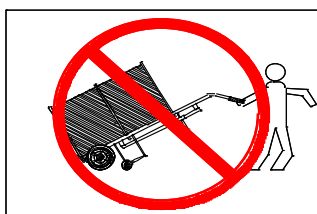
移動するときは、
廻りをよく
確認してください



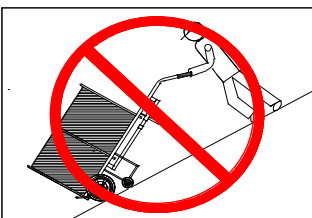
人を、絶対に
載せないでください



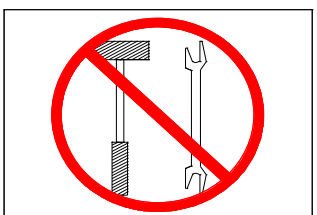
段差のある場所
では、スロープ等を
設置してください



後ろ向きには
引かないでください



坂道での運搬は、
おやめください



分解や改造は
絶対におやめ
ください

引っかけフック調整方法 SUS187Bのみ

1. SUS187B本体を写真1のようにツメの先端をドラム缶に触れさせる

写真2のようにドラム缶とツメの間に隙間を開けないでください

写真 1



写真 2



隙間を開けない

2. SUS187B本体を起し写真3のようにドラムの天面部とSUS187Bのボディを密着させる。

写真4のようにドラム缶とボディの間に隙間を開けないでください

写真 3



写真 4



隙間を開けない

3. 写真5のようにドラム缶のフチ内側に引っかけフックをかけ、フチ内側に密着させる。

写真6のようにフチ内側とツメの間に隙間を開けないでください。

写真 5



上下に動かし可動するか確認

写真 6



隙間を開けない



最後に付属する六角レンチで、
ネジを締めつけて完了。

締め付け後、写真5のように
引っかけフックが上下に可動するか
確認してください

操作方法 187B/SUS187B 共通

● ドラム缶積載



1. 静止状態
(保管状態)



2. 転倒防止ストッパー(D)を踏み込んで、解除してください。これで移動が可能になります。
※解除せずに操作をすると破損しますのでご注意ください



3. 左右のツメ(E)がドラム缶の床端についている事を確認しフック(C)をかけてください



4. ハンドルを手前に引きながら、足踏みステップを踏み込んでください。



5. ハンドルを下方方向に引いて4輪接地しこのときフックがドラム缶から外れず、且つツメがドラム缶の下に潜り込んでいることを確認し走行してください。

● ドラム缶降ろし

- * 積載の逆手順で、5-4-3と慎重にゆっくりと進めてください。
- * 自然と、ツメがドラム缶から離れ3の状態になります。
- * 自立させる場合は、図-2のように転倒防止ストッパーを蹴り上げて、図-3の状態にしてください。



● 注 意

- * 鋭利な突起物を乗り越えることは避けてください。
- * ドラム缶の引き上げ及び降ろし作業は慎重に行ってください。
- * 自立保管させる場合は、転倒防止ストッパーを必ず掛け自立を確認してください。

● 点 検 安全と性能の維持のために始業時及び、 定期(月次/年次)に点検を実施してください。

- * フレーム(各部品)に歪み、異音、亀裂、熔接の剥離はないか。(目視、聴覚)
- * ボルト、ナットの緩み破損はないか。(目視、指触)
- * 車輪の回転時異音はないか。(聴覚)
- * 車輪のゴムに傷や剥離、異常磨耗はないか。(目視)
- * 車輪の取付部品(割リピン、平ワッシャー)等の破損、欠落はないか。(目視)
- * 軸受け部及び引っかけフック部に、潤滑油を注入してください。(下記図参照)

※ 軸受け部



※ 引っかけフック部



以上の点検を行ってください。修理依頼は取扱店に依頼してください。

弊社ホームページにて
取扱説明書・図面・使用方法動画を公開しています



187B



SUS187B



株式会社 神戸車輛製作所

本社・工場

〒135-0013 東京都江東区千田17-13

TEL 03-3649-2131 FAX 03-3649-2136

E-Mail:kanbe@bz01.plala.or.jp

<http://business4.plala.or.jp/kanbe/>

●本製品の各仕様は改良のため予告なく変更することがあります